

論文 / 著書情報  
Article / Book Information

|                   |                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 題目(和文)            | 再開発における歴史的建築物の価値継承のための保存・再現手法                                                                                                                                                                   |
| Title(English)    |                                                                                                                                                                                                 |
| 著者(和文)            | 野村和宣                                                                                                                                                                                            |
| Author(English)   | Kazunori Nomura                                                                                                                                                                                 |
| 出典(和文)            | 学位:博士(工学),<br>学位授与機関:東京工業大学,<br>報告番号:甲第11095号,<br>授与年月日:2019年3月26日,<br>学位の種別:課程博士,<br>審査員:山崎 鯛介,安田 幸一,奥山 信一,塚本 由晴,藤田 康仁                                                                         |
| Citation(English) | Degree:Doctor (Engineering),<br>Conferring organization: Tokyo Institute of Technology,<br>Report number:甲第11095号,<br>Conferred date:2019/3/26,<br>Degree Type:Course doctor,<br>Examiner:,,,,, |
| 学位種別(和文)          | 博士論文                                                                                                                                                                                            |
| Category(English) | Doctoral Thesis                                                                                                                                                                                 |
| 種別(和文)            | 審査の要旨                                                                                                                                                                                           |
| Type(English)     | Exam Summary                                                                                                                                                                                    |

(博士課程)

## 論文審査の要旨及び審査員

| 報告番号        | 甲第  | 号     | 学位申請者氏名 | 野村 和宣        |
|-------------|-----|-------|---------|--------------|
| 論文審査<br>審査員 |     | 氏 名   | 職 名     |              |
|             | 主査  | 山崎 鯛介 | 准教授     | 氏 名<br>藤田 康仁 |
|             | 審査員 | 安田 幸一 | 教授      | 職 名<br>准教授   |
|             |     | 奥山 信一 | 教授      |              |
|             |     | 塚本 由晴 | 教授      |              |

### 論文審査の要旨（2000 字程度）

本研究は「再開発における歴史的建築物の価値継承のための保存・再現手法」と題し、以下の 6 章により構成されている。

第 1 章「序論」では、研究の背景と目的、研究の範囲と方法、既往研究について述べ、本論文の位置づけと意義を明確にするとともに、再開発において歴史的建築物の価値継承を図った事例の概況について述べている。具体的には、著者が設計者として携わった 4 つの歴史的建築物を含んだ再開発プロジェクトについて、報告書や設計図書を分析して再開発の事業的命題と歴史的建築物の価値の所在を明らかにしつつ、価値継承の範囲がどのように絞り込まれ、また具体的な設計手法がどのように決定したかを明らかにすることで、再開発における価値継承のための検討プロセスと設計手法に関する基礎的な知見を明らかにすることが本論文の目的であることを述べている。

第 2 章「保存と再現によって歴史的建築物の価値を継承するための検討フローの構築」では、日本工業倶楽部会館(1920 年竣工)を含んで日本工業倶楽部会館・三菱UFJ 信託銀行本店ビル(2003 年竣工)へと再開発した事例を分析してその価値継承の検討プロセスをフローにまとめ、同事業では、歴史的価値の位置付けと所在の確認、安全性確保のための課題の抽出、事業性と諸制度の活用という 3 点が与件整理の指標として事業の初期段階に同時に検討されていたこと、価値継承のための設計手法としては、耐震補強の方法や保存と再現の比率を変えた多様な案を設定し、収益性と価値継承とのバランスを検討して案が絞り込まれたこと、収益性に大きく影響する行政支援の方針が未確定の時点では、条件付きで複数の計画案に絞り込まれたことを明らかにしている。

第 3 章「先進的思想の現れた初期モダニズム建築を事例とした検討プロセス」では、初期モダニズム建築の傑作として知られる東京中央郵便局舎(1931 年竣工)を含んで J P タワー(2012 年竣工)へと再開発した事例を取り上げてプロジェクトの特徴を分析し、吉田鉄郎の「先進的設計思想」の重要性とその現れ方の把握、耐震化対策や用途変更によって生じる課題への対応、まちづくり貢献のための都市計画的対応という 3 点が与件整理の指標になっていたことを明らかにした。価値継承のための設計手法としては、初期の鉄骨鉄筋コンクリート造建築に対して免震などの補強対策を施しながら、保存と再現によりファサードデザインの価値継承を図る方法を示すとともに、新旧建物が向かい合うアトリウム空間において、商業施設・文化施設として活用することを前提とした設計手法が示されたことを明らかにしている。

第 4 章「『代替わり』により継承進化する建築を事例とした検討プロセス」では、歌舞伎座(1924 年竣工)を含んで GINZA KABUKIZA(2013 年)へと再開発した事例を取り上げてプロジェクトの特性を分析し、演者・興行者・観客の要望をふまえた機能更新が民間の歌舞伎専用劇場としての継続性には不可欠とする思想の存在、耐震性能やバリアフリー化を含めた現行基準への適合化、劇場利用者以外を対象とした文化交流拠点の併設によるまちづくりへの貢献という 3 点が与件整理の指標になっていたことを明らかにした。価値継承のための設計手法としては、構造変更を前提に部材保存と内外装の再現の範囲と技術的方法を決定したことを明らかにしている。

第 5 章「再開発に対応した検討フローの構築と再現における検討プロセス上の要点」では、第 2 章から第 4 章までで得られた知見に基づき、再開発における価値継承のための検討フローを示すとともに、価値継承のための設計手法として「再現」に着目し、それぞれの事例における再現の目的と方法を整理した上で、その意義が「保存」を補完し、継承すべき価値の範囲を可視化することにあることを論じている。さらにその論に基づいて失われた建築物の全体を再現した旧三菱一号館再現プロジェクトを取り上げ、専門家による再現の意義や方法についての検討結果を引用しつつ、歴史的建築物の価値継承における再現の有効性を論じている。

第 6 章「結論」では、各章で得られた結果を総括し、本論の結論を導いている。

以上を要するに、本論文は、再開発において歴史的建築物の価値継承を図るためには、初期の与件整理の段階で収益性の見通しと歴史的価値の把握とを同時に検討する必要があること、価値継承の手法として「再現」に着目し、それが価値の範囲を可視化していることを明らかにした点に、新たな知見を提出したことが認められる。本論文で明らかにした諸点は、歴史的建築物の価値継承という課題に対し、重要な論点を提示しうるものである。

したがって、本研究成果は建築学上および工学上貢献するところが大きく、本論文は博士（工学）の学位論文として十分価値のあるものと認められる。

注意：「論文審査の要旨及び審査員」は、東工大リサーチポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。